

刊夕 日五月十

# 常磐每日新聞

定価 一月五元 三月十五元 半年三十元 一年六十元  
 廣告料 五號十二字 第一行 金五拾銭  
 日曜祭日の日 休刊  
 印刷所 常磐毎日新聞社  
 社址 常磐毎日新聞社  
 電話 六二〇

## 成長の覺書

漆原市郎左工門手記

平陽 老人

御歎願書左之通  
 當三月中對馬守上  
 京仕候ニ付私儀磐城平罷  
 在候處與羽同盟之儀ニ付  
 名分順道ヲ誤リ家來共奉  
 抗

平陽 老人  
 御歎願書左之通  
 當三月中對馬守承知不仕候  
 得先早速申遣候者恐懼  
 至極仕可奉歎願候此上  
 者幾重ニ茂  
 御寛大之御所置儀ニ奉歎  
 願候誠恐誠謹言

安藤 鶴翁  
 信正花押

官軍終ニ磐城封土ヲ失ヒ  
 何共可奉申上様無御座深  
 奉恐入候伊達陸奥儀者最  
 寄同盟之儀ニ付一ト先仙  
 臺表江罷越候處今般仙臺  
 米澤兩藩ヨリ  
 叙慮之程奉承恐懼至極  
 奉存候素ヨリ奉抗

九月  
 九月廿五日夜四ツ時過内  
 藤長壽鷹様御旅館江同藩  
 茂原肇 當時參謀附屬之  
 由罷越罷出候様申來候に  
 付早速出候處口達今朝泉  
 湯長谷藩呼出に付第十字  
 罷出候處參謀寺島秀之進  
 殿御達之趣は本多能登内  
 藤長壽鷹様御之赴御聞届

官軍候存慮者毛頭無御  
 座候得共着邑以來者遠  
 境之僻地ニ罷在候ニ付  
 天下之事情茂隔絶仕恐  
 多茂  
 叙慮之程茂具に不奉窺一  
 時之行違ヨリ終ニ

獨逸のナ  
 チスの表  
 章己は左  
 向だが撃殺の方では左向  
 理智を表はすと右向慈悲  
 を表はすと二種ある

今日之仕儀ニ立至候段  
 退隱之身分被者乍申指  
 揮不行届故之儀誠以奉  
 恐入先非悔悟仕候隨而  
 兵器悉指上於舊領ニ恭  
 順謹慎罷在家來未々迄  
 吃度謹慎申付置奉仰朝  
 裁度候間  
 御寛典之御所置奉歎願  
 候右之事件道路相塞候

被成候旨御進直様御使者  
 番より明後廿七日拂曉岩  
 沼迄主人可罷出旨御達有  
 之平重役當所に詰合無之  
 に付主人江爲申聞罷越候  
 節平重役江明後廿七日拂  
 曉岩沼江罷出候様可達旨

曉御出立被遊候旨被仰聞  
 候廿七日曉六ツ時過御出  
 立岩沼江被爲入候御供中  
 村茂平罷越茂平又左衛門  
 兩人御附添館内江出る  
 御隱居様參謀衆江御嘆願  
 書御落手之御禮被仰述引  
 續參謀衆より御達今般降  
 伏之嘆願書御落手相成候  
 間仙臺城下最寄之寺院に  
 謹慎罷在候様御沙汰に候  
 事以書付御達有之暮六ツ  
 時過石川屋敷江御歸り被  
 遊候翌日寺院借り入之儀  
 山田彦大夫を以相願其後  
 八ツ塚孝勝寺江被爲入候

【書】天ぶら：車えびぎ  
 んぼう あなご お  
 ろし大根 合せしよ  
 う油  
 【晚】ごま酢：薄打ち蓮根  
 油揚 ごま酢あへ

【一白】婦女子の病氣怪俄に  
 注意又金には縁あれど紛失  
 する勿れ東西凶【二黒】外見  
 吉である然し我身の健康を  
 守りて水火の難に注意南北  
 凶【三碧】營業繁忙の日なれ  
 ば金銭上間違ひを起す勿れ  
 水火の難にも注意南北凶  
 【四緑】新企の件に手を出し  
 失敗する事あれば現状維持  
 が吉未申と丑寅凶【五黄】金  
 は手に入り貰ひ物はある又  
 長男長女の悦びもある大吉  
 なり東西凶【六白】引續き吉  
 なり縁談は申込まれ金融は  
 良く目上の信も得るなり戌  
 亥と辰己は凶【七赤】病氣怪  
 俄の苦勞又は家内に争論を  
 起す事あれば萬事に注意  
 【八白】金談縁談望事等他人  
 の應援を得て吉を得る日戌  
 亥と辰己凶【九紫】望事に奔  
 走して大失敗を取る事あれ  
 ば猛進する勿れ東西凶

【晚】ごま酢：薄打ち蓮根  
 油揚 ごま酢あへ

御歎願書左之通  
 當三月中對馬守承知不仕候  
 得先早速申遣候者恐懼  
 至極仕可奉歎願候此上  
 者幾重ニ茂  
 御寛大之御所置儀ニ奉歎  
 願候誠恐誠謹言

### 金銀高價買入

各國時計：眼鏡：貴金屬  
 御修繕は専門の當店へ

## 根本時計店

平二(電話六〇七番)

### 喜多流謠曲と仕舞の

お稽古をお勧め致します

平田町六九  
 喜多流 謠曲 仕舞 白土會

◇詳細は本會へ御問合せ下さい◇

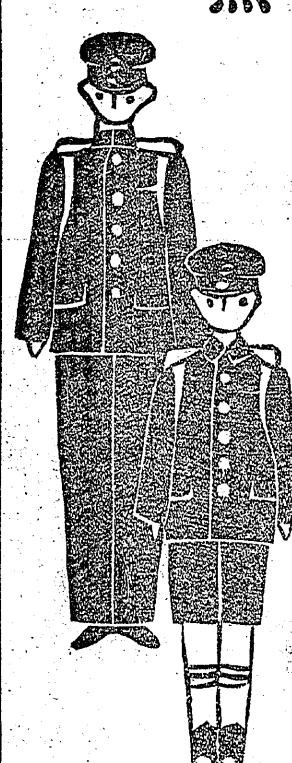
### 質物一般

夜九時迄出入れ致します

## 三井質店

平四(電話六〇六番)

### 黒小倉服 賣出し



小学生 中品 一圓六十銭  
 小学生 上品 一圓八十銭  
 中学生 特製A 三圓五十銭  
 中学生 特製B 三圓五十銭

紺ヘル 三圓二十銭ヨリ

平町 正札堂洋服店 電話三六

### 黒小倉通學服賣出

冬服の御用意をなさいましたか  
 弊店は御満足の頂ける黒小倉服を  
 澤山取揃へ特價にてお務めして  
 おります

小學生用(長ズボン付)  
 A ..... 90ヨリ  
 B ..... 1.10ヨリ  
 特製 ..... 2.50ヨリ

中學生用  
 特製 6號 ..... 3.50ヨリ  
 御注文(特上) ..... 6.50均一

ふかや洋服店 平三 電話 203

# 炭鑛の復活

## 吉報頻々と至る

### 何れ劣らぬ採炭競争

石城郡下の各炭鑛は既記の如く夏枯れ時に擡頭した好況を其後も持ち續けて昨今は愈々需要期を目前に一層此の好勢に拍車を掛け何れ劣らぬ採炭競争の増進に忙殺されて居り磐城炭鑛では休坑中の高坂坑を復活すべく極力排水作業を急ぎ磐崎村藤原地内三井炭鑛も三井鑛業の手で復活する模様で郡下の炭鑛は間もなく全山蘇生の姿に立歸るであらうと

### 握飯を腰に

#### 健脚でヘタルを踏む

非常時の折柄農村青年が更生の意氣に燃えて視察

んで來場したと

石城郡神谷村農事試験分場には最近連日の如く農村更生の意氣に燃ゆる青年團の視察隊が押かけその案内に忙殺されて居るが非常時の叫ばれて居る折柄として自轉車に握飯持參の一行が多く昨日も上遠野及び内郷、勿來の各青年團がヘタルを踏

鹿島養鶏役員 石城郡鹿島村養鶏組合では來る七日午後一時より同村小學校で役員會を開き役員の改選及び總會催の打合せを行ふ

### 新調の優勝旗を

#### 巡つて女兒リレー大人氣

平第二、第三兩小學校を始郡下各小學校女子部ではき來る十七日開催される磐城高等女學校秋季陸上大運動會に於ける唯一の呼物である郡下各小學校女兒童四百

神谷、好間、大浦、山田の八校にて平第二及び第三の出場選手は左の如くである

### 自轉車隊が出發

中通り方面の農業視察に 神谷産業青年等が

石城郡神谷村産業青年團員四十名は同村補習學校高橋教諭に引卒され本日より三日間の豫定で自轉車に乗り中通り地方の農業視察に出發した

### 剣道部が發會式

平第一が新校長を迎へて 既報今學期より新設された平第一小學校の剣道部は目下横田、水竹、根本の各訓導指導の下に練習中であるが新校長着任を機とし來る九日午後二時より講堂に於て發會式を舉行すると

### 青年對抗

既報來る十五日開催される平町東部青年分團對抗八百米リレー優勝競争奪戦の出場分團は左の如くである

(平第二)中村茂 鈴木登美子 地村琴子 蛭田カヨ子(平第三)猪狩フヨ 青木タキ子 高田秋子 大越ワカ

### 四倉の繭市況

四倉繭市場昨四日の取引共數は二千四百三十二貫四百六十匁にて最高四十一圓、最低三十四圓十錢、別三十七圓九十錢である

### 高久料理講習

石城郡高久村婦人教育會女子青年團聯合會主催料理講習會は去る一より三日間同村地藏院で催された

### 博愛心

既報 平第一が新校長を迎へて 丁目 新川町 月見町 提ノ内

### 選拔發送

△第一(四年)關内三夫 高階仁 三井真一(五年) 鈴木將夫 高階文三 大野光男 市川勝次 長谷川勝三 白土健(六年)野崎文彦 安藤光男 龜岡三女トミ

### 平町物價

白米	一等一キロ	一六五
	二等	一五五
	三等	一四五
白麥	同	九五
平麥	同	一三五
味噌	一貫目	五〇〇
醤油	一升	四〇〇
清酒	同	一〇〇〇
木炭	樞九一貫目	二四〇〇
	樞九同	二二〇〇
	雜九同	二二〇〇
砂糖	赤	二四〇〇
	白	二二〇〇
豚肉	並上	三〇〇〇
	並	二四〇〇
牛肉	並上	二五〇〇
	並	二四〇〇

### 平町人事

△新川町六 橋本政範氏長 女ヤス子 △六間門一六 田島大市氏 三女トミ

門 專  
婦 産  
花 柳 病 科  
柳 病 科  
婦 人 科  
産 科

### 井坂醫院

平町田町 電話五五九番

### 板ガラス

旭硝子株式會社製品 赤菱印 葉子 壘子 硝子 食器 其他各種

### 松崎硝子製作所

平町新川町(電話二四二番) 支工場 仙臺市榮町(電話五九七番)

### 秋!

爽かな秋の旅を不二の車で 日光鬼怒温泉附近案内一部差上げます

### 不二タクシー

電話32番

## 中村齒科醫院

平町鍛冶町七

### 阿部石炭商店

電話三七番

# 稲を早く刈入なさい

## 郡農會の注意書

石城郡農會では郡産米の聲價を昂むる爲め機會ある毎に稲の早刈獎勵及び乾燥・調等製に就いて注意を行つて來たが生産者の多くは未だ自覺せず稲の刈入れは依然として遅れ勝ちの傾きが多いので同會では近く早刈獎勵の注意書を發すると

### 營林署長赴任 過般

高知縣本山營林署長に榮轉された平榮林署長内村千里氏は來る八日午前九時に出發赴任するが後任署長佐藤陸郎氏は十二日頃赴任される豫定である

## 拳闘 柔道

### 肉彈戰展開

來る廿一日に

### 聚樂館で公開

平町長橋町高木喬君のいはき新報社主催に依り來る廿一日午後二時及び同六時の二回に亘り聚樂館に於いて

### 最初の 國際拳闘對柔道の對抗試合が催される

場選手中には本郡好間村出身の日米拳闘俱樂部師範渡邊賢一、内郷村出身和田大治郎、の兩氏あり其他本邦

### 選手權 所有者ヒリッ

ピンのキッドダヤオを始め獨逸エムデン號生存者マキシーマドソン、ウエリアム

五分着にて來年第一、第二第三の各小學に於ける學校經營其他の視察をした

## 原動機

# 検査

### 平署管内で

平署管内各町村の原動機検査は來る十六日より廿一日迄縣保安課の石塚今井兩技師が執行する

## 無錢飲食の揚句に

### 押入の衣類を盗む

夫れを道路に投下した處

### 密行巡査に捕る

平町八幡小路居住大工伊藤建藏(七)及び日雇人引地定(七)の兩名は去る四日午後十時頃五丁目飲食店菊屋事菊地ヤエ方で三圓餘の無錢飲食を働いた揚句家人の隙を見て押入の中から盗んだ衣類十數点を風呂敷に包み夫れを擔いで逃げんとし道路に投下した處を密行中の平署巡査、金澤兩巡査に檢擧された

## 商工經營

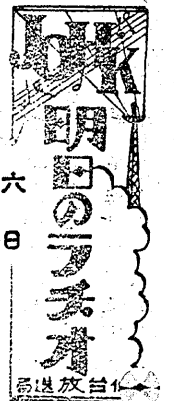
### 矢野校長講演

既報來る七日午後七時より平町役場講事堂に於て開かれる平商業學校の商工研究會第九回例會には校長矢野泰次郎氏が經營に關する講演を行ふ

## 平署警官

### 兩氏榮轉

今回の警察官異動に依り平署巡查部長佐々木岩雄氏は保原署に榮轉後任は須賀川



今晚も明日も北東の風晴曇半す

### 今晚の部

後六、〇〇(子供の時間) 童話劇「山賊王子」出演 東京放送童劇協會 後六、二五 英語講座 勝田孝典 後七、三〇 講演(飛行館より中繼) 逓信大臣南弘 後八、〇〇 財團法人國劇向上會主催(朝日講堂)

### 明日の部

前六、三〇 基礎英語講座

### 裁判所だより

△平町古鍛冶町三〇柴野幸太郎方無職最上吉次郎(三)は鹿島村菌部豊を硝子コップで毆打し全治五週間に要する傷害を與へ罰金四十圓

### 求刑通り

### 十四犯の賊

田村郡御館村大字下校生生理目下住所不定無職前科十四犯松本己之吉(三)が昨年十二月頃石城郡湯本町大字湯本桶職丹野辰次郎方細工場より道具類一揃價格十七餘圓を窃取したのを手始め

### 裁罰所だより

△同町三三根本藤平(三)は大川金治郎と口論の末面部を毆打し全治一週間に要する打撲傷を與へ罰金三十圓

### 仕着小遣(平町某)

△倉働、三十才尋卒 月十圓(平町某) △外交員、四十五才 尋卒 四割給(平町某) 回職を求める方

### 一冊の代金で

御希望通りな 五冊の雑誌が 自由に讀める 川崎巡 回文庫 電六三〇番 (申込次第規則書進呈)

### 平職業紹介所報告

回人を求める方 △豆腐賣子、三十位 賣上の二割 外面談(平町某) △仕上工見習、十八才尋卒

### 自由の雑誌

△同町三三根本藤平(三)は大川金治郎と口論の末面部を毆打し全治一週間に要する打撲傷を與へ罰金三十圓

### 裁罰所だより

△同町三三根本藤平(三)は大川金治郎と口論の末面部を毆打し全治一週間に要する打撲傷を與へ罰金三十圓





【禁無斷轉載上演映畫】

寶井馬琴 演  
山本英春 畫

第五十七回 血に飢ゆる村正

また出た急げ癖

其の中鐵藏夫婦は酒肴を出して一口飲んだらサア二人も寝るがいと其晩始めて夫婦の固めを致しました

明くる日は次郎吉おさくは旅装ひを致しまして茲で佐野の犬伏を出立いたし江戸表を指して参ります

道中は別に申上ぐる事もなく巢鴨の淺香町を聞いて参りますと長壽庵といふ行燈が出て居ります

這入つて見れば淺吉も眞黒になつて働いて居る様子

次「淺吉さん暫らくでございまして」

と云はれて淺吉は、つく／＼二人の様子を見たが小松原有益の伴で乳母日傘育つた次郎吉が頭の風がら扮装形がトント遊び人のやうでございませぬ

淺「お前さんは、小松原の次郎さんぢやアムいませぬか」

次「誠に淺吉さん、暫らくでございまして、委細は此の手紙に書いてございませぬ」と出したのは、燒金の鐵藏からくれ／＼も二人をたのむと云ふ所の手紙、披いて見れば委細の事が分つた

した。マア此方へと二人を

通し、其夜は奥へ寝かしました

が、翌る日からは次郎吉も早く起きて店の手傳ひを致しまする様子、淺吉も



驚かしまして  
淺「次郎さん蕎麥屋の方は本職におなんなすつたね」  
次「大伏に居て遂々覺え

した  
淺「成程鐵藏さんの家に居なすつて覺えなすつたのかえ、次郎さんが蕎麥屋が出来たら幸ひのお話がございませぬ、聞いてちや下さるまいか」  
次「何ですえ」  
淺「外ではございませぬが私も國を出る時にお聞きなすつたらうが、丸で取散して飛出してさへ、此方へ来て蕎麥屋になつてから辛抱をしようと思ふ氣が出て、

て、お前さん故お話を致しますが百五十兩正金が残りました」  
次「ウーム大層なものでございませぬ」  
淺「乃で此の金を持つて家へ歸り、質に置いた田地畑畑皆な受戻す事が出来なすつた、迄も親から譲られただけの田地を半分でも取戻して百姓で終り度いと思ひ、誠に親父の墓の傍で是れまでの不幸を詫び様と思ふに附けても、折角買り込んだ此の店を只手放すのも詰らなすつた所、幸ひお前さん方御夫婦が入つて下さりや私も快く國へ歸れる、道具の代でソツクリお譲り申さうと思ひます、失禮ながら道具代の三兩か七兩お手許になりや、何日でも都合の出來た時に飛脚で届けて下さりやア夫でようございませぬが、此の相談は乗つて下さる事にはなすつたまいか」  
と木に餅の生るやうな話次郎吉夫婦は大きに喜び互に顔を見て居りました  
次「淺吉さん眞實でございませぬかえ」  
淺「何の嘘を申ませう」  
次「實は犬伏の鐵藏さんから二十五兩貰つて來ました其の金はソツクリ茲にムいませぬから、譲つて下さるなら私も身上を拵へた縁起の宜い長壽庵、どうかやつて見度いと思ひますから何うか宜しく願ひませぬ」  
淺「話はして見るものでございませぬ、今まで心掛て居た方へ纏らないで昨夜お出

でなすつたお方で話がまとまるのも、奇麗なもの、そんなら道具代七兩お呉んなせ、跡は悪くも寢道具まで置いて参りませう」  
と淺吉の親切、直に實主へ話をすると素より國者で淺吉が萬事引受るといふ事ゆゑ別に故障はございませぬ、金の取り渡しが済みますと故郷を急ぐ淺吉は、直に野州路へ出立をいたした

する、跡に残つた次郎吉夫婦、名前も其の儘長壽庵、近所隣へ披露めをして茲でそば屋の店を引受けました何事も新しい中は自分も珍らしいから其の業に骨を折るから、繁昌を致しますもので、長壽庵を引受けました次郎吉夫婦近所の者にも賞められて、朝は早く起き夜は九ツ頃ほひまで、店を張つて居ります、品物は吟味をして居りますから先よりは錢も上り幾らか溜るのが面白いので、道樂もせず寂いで居りました所、寸善尺魔とは能く申しましたもので、近所の者と一寸賭將棋を差したのが初まりで、サア急げ出すと根が身上的悪い次郎吉でございませぬ、家は女房に任して置き飛んで歩いて博奕ばかり商賣のやうにして居ります

初めの中は職人が居ましたから、次郎吉が留守でも何うやらやつて居りましたが終ひには給金を拂ひませぬゆゑ職人も居なくなりまして

九三年、實に食ふものも食はないやうにして稼いで見ると幾らか錢が出来ましたサア留まるのが面白くなつ

夏から秋・冬へ!!!  
「衣裳御着替」  
特に勉強致します

旭屋 一六銀行  
平三丁目 電四二五番

吉田眼科病院  
平針屋町、電話六八番

關内藥局  
電話四〇番

寫真材料一式販賣致シマス

男女安全豫防藥  
新發賣 志のぶ錠  
しのだ錠は花柳病の豫防藥たるのみならず〇〇〇〇の外コシケ、子宮、内膜炎、陰加答兒並に婦人〇部の癢痒等の治療の目的に用ひられる事で即ち〇〇〇の豫防と治療の二重奏をなします  
專賣所 阿康藥舖  
平古鍛冶町(電話四四番)  
妊娠を望む方は使用すべからず

吸入用酸素純度 99%  
度量器  
モノサシ  
マハカリ  
体温計  
寒暖計  
秤ノ取緒・垂糸・修繕致シマス  
關内藥局  
電話四〇番  
寫真材料一式販賣致シマス

夏から秋・冬へ!!!  
「衣裳御着替」  
特に勉強致します  
旭屋 一六銀行  
平三丁目 電四二五番  
吉田眼科病院  
平針屋町、電話六八番  
關内藥局  
電話四〇番  
寫真材料一式販賣致シマス